

日本福祉大学教育・心理学部授業科目履修規程

第1章 総則

（趣旨）

第1条 日本福祉大学教育・心理学部（以下、「本学部」という。）の授業科目の履修、及びこれに関する事項は、日本福祉大学学則（以下、「学則」という。）によるほか、この規程の定めるところによる。

第2章 専修・コース

（専修・コース）

第2条 保育・幼児教育及び学校教育に関する複合的・専門的な力量を持った人材を養成するため、本学部子ども発達学科に「保育・幼児教育専修」及び「学校教育専修」を置く。また、学校教育専修には「学校教育コース」及び「特別支援教育コース」を置き、それぞれ求められる専門性に応じたカリキュラムで構成する。

2 保育・幼児教育専修の定員は120名とし、専修の選択は入学選抜時に行う。

3 学校教育専修の定員は学校教育コース60名、特別支援教育コース35名とし、コースの選択は入学選抜時に行う。

第3章 卒業条件

（卒業条件）

第3条 本学部を卒業するためには、学則で定める卒業条件を満たし、別表2に示す所定の単位を修得しなければならない。

2 「全学教育センター科目」は、別表4のとおり「総合基礎科目」として、卒業単位に算入する。

3 第1項の卒業要件を満たして卒業を許可された学生が、卒業延期を希望する場合は、学部教授会の決定により1年間に限り卒業を延期することができる。

第4章 授業科目と履修方法

（授業科目の種類）

第4条 本学部の授業科目（自学科の総合基礎科目として卒業単位に算入する全学教育センター科目を含む）の単位、及び学年配当は、別表1のとおりとする。

（履修方法・条件）

第5条 各科目の履修方法・履修条件は別表1のとおりとする。

（資格関係科目）

第6条 教員、保育士の資格及び公認心理師資格取得のための学士課程における基礎要件を取得するためには、別に定める履修規程に基づき履修しなければならない。

第5章 履修登録

（履修登録）

第7条 授業科目を履修し単位を修得するためには、毎学年の所定の期間に履修登録をしなければならない。

- 2 前項の規定にもかかわらず、後期の所定の期間に年間履修単位数の範囲内で履修登録の修正を行えるものとする。ただし、通年開講科目の履修登録の修正は行えないものとする。
- 3 後期復学生及び年度当初に履修登録を行わなかった者は前項の期間に後期開講科目に限り履修登録を行えるものとする。
- 4 病気、その他やむをえない理由により所定の期間に履修登録できない場合は、直ちに届け出て指示を受けなければならない。

（クラス登録）

第8条 履修登録に先立ちクラス登録を必要とする科目は別表1のとおりとする。クラス登録を行わない場合は履修登録ができない。

（年間履修単位）

第9条 学年ごとの履修登録単位数の上限は別表3のとおりとする。

（履修の制限）

- 第10条** 既に単位を修得した科目と同一又は類似とみなされる科目、及び上級学年配当科目は履修することができない。
- 2 同一時限に同時に開講される複数の科目を履修することはできない。科目により、履修者の制限をすることがある。

第6章 所属学科以外の開講科目の履修

（履修の許可）

第11条 所属する学科以外で開講されている授業科目の内、当該科目の開講学部が認めた科目を履修することができる。

（修得可能単位数）

第12条 前条により修得できる単位は、他の大学又は短期大学において修得した単位を含めて、60単位を限度として卒業単位に参入する。

2 本学部に入學又は編入學・転入學・転籍を許可された者が、従前の大学等で既に履修した授業科目及びその修得単位を、本学部における授業科目の履修により修得したものと認める場合は、その認定単位数も前項の卒業単位算入限度に含めるものとする。

（履修の範囲・条件）

第13条 所属する学科以外で開講されている授業科目は、第2学年次より履修することができる。

2 所属学科以外に開講される履修許可科目のうち、教育・心理学部の科目について許可する科目は別表1に示し、教育・心理学部以外の科目について許可する科目は、毎年度、提示する。

3 所属する学科以外で開講されている授業科目を履修する場合の配当年次は、当該科目が開講されている学部の配当年次に従う。

4 所属学科で開講されている科目と同一とみなされる授業科目は履修することができない。

5 キャンパス間移動を伴う履修については、連続する時限で履修することはできない。

6 施設等の条件により、所属学科以外の学生の履修を制限することがある。

7 資格課程に開設された資格独自科目を履修する場合は、当該資格課程登録者のみが履修することができる。

第7章 4年留年・復学・再入学生の履修

（4年留年生の履修条件）

第14条 第4学年に留年した学生の履修条件は留年後所属した第4学年の履修条件による。

2 第4学年に留年した者が、前期終了後に卒業条件を充足した場合、本人の申し出により前期卒業を認める。

（復学・再入学生の履修条件）

第15条 復学、及び再入學した学生の履修条件は、新たに所属する学年の履修条件による。

第8章 授業

（授業の方法）

第16条 本学部における授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行うものとする。

2 第1項の授業のうち、全講の過半数を教室等において直接教授するものを「対面授業」という。

3 第1項の授業のうち、全講の過半数を学則25条に定める「多様なメディアを高度に利用して行う授業」にて教授するものを「メディア授業」という。

- 4 前項にいう「メディア授業」を、次の各号のとおり区分する。
- (1) 動画像データの視聴及び課題添削と質疑応答等を組み合わせて遠隔で実施する「オンデマンド授業」
 - (2) Web ビデオ会議システムを活用して同時双方向に遠隔で実施する「同時双方向型授業」
- 5 授業の形態は、その開講期間に応じて以下の各号のとおり区分する。
- (1) 通常授業は、通年、又は半期、四半期で開講する。時間割は年度はじめに発表する。
 - (2) 集中授業は、集中授業期間に連続して開講する。集中授業期間、科目、日程は年度はじめに発表する。
 - (3) 補講は、休講等やむをえない事情で授業が予定通り終了しない場合、所定の補講期間に実施する。補講期間は年度はじめに発表し、科目、日程はその都度掲示で発表する。

（授業の変更）

第17条 年度途中、やむをえない事情で、授業の日程や教室を変更する場合がある。変更についてはその都度掲示する。

（授業への出席）

第18条 各科目の授業について、試験規程第7条に定める受験資格に必要な出席回数を満たしていない場合は、単位認定試験の受験資格を失う。

第9章 試験及び成績発表

（試験）

第19条 学則34条に基づく試験については、別に定める「日本福祉大学試験規程」による。

（成績発表）

第20条 成績の発表は、大学の指定する時期に行う。

（成績評価・学習指導等）

第21条 成績は次の基準により評価を行い、60点以上を合格とする。

S (100～90点) A (89～80点) B (79～70点) C (69～60点) D (59点以下)

- 2 前項にもかかわらず、一部の科目についてはG（合格）・D（不合格）により判定することがある。
- 3 試験規程第7条に定める受験資格の要件を満たしていない場合及び試験を受験しなかった場合は、K（棄権）とする。
- 4 2008年度以前の入学者の成績評価については、第1項にかかわらず従前のとおり取り扱う。
- 5 編入生、転入生及び転籍生の従前の大学・学部等における修得単位の認定はN（認定）とする。
- 6 修得単位数及び学則第36条2項に定めるGPAに照らして、学業不振または学業継続が困難な学

生に対して、学部は必要な学修指導または警告を行う。

7 前項に定める学修指導と警告の基準及び手続は別に定める。

第10章 規程管理

（規程の所管課室）

第22条 本規程の所管課室は、美浜事務室とする。

（規程の改廃）

第23条 本規程の改廃は、教育・心理学部教授会の審議結果の進達を受けて、学長が決定する。

附 則

- 1 本規程は、2020年4月1日より施行する。
- 2 本規程は、2021年4月1日より一部改正施行する。
- 3 本規程は、2022年4月1日より一部改正施行する。

別表1
【総合基礎科目】教育・心理学部

通年	科目種別	授業科目名称	配当学年	単位数	時間数	クラス登録	コース別履修方法			備考	履修方法 (資格・免許)					参考)開講予定期	
							保育	学校教育			心理	保育士	幼稚園	小学校	中社		公認心理師
								特校	特校								
1	全学共通科目	スポーツ実技	1	2	60	○	●	●	●	△	子ども発達学科は卒業必修 心理学科は全員履修	●	●	●	●		通
2		フレッシュマンイングリッシュⅠ-1	1	1	30	○	●	●	●	●	卒業必修(留学生は特例科目の表を参照のこと)	○	●	●	●		前
3		フレッシュマンイングリッシュⅠ-2	1	1	30	○	△	△	△	△	全員履修(留学生は特例科目の表を参照のこと)						後
4		フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	1	1	30	○	●	●	●	●	卒業必修(留学生は特例科目の表を参照のこと)	○	●	●	●		前
5		フレッシュマンイングリッシュⅡ-2	1	1	30	○	△	△	△	△	全員履修(留学生は特例科目の表を参照のこと)						後
6		情報処理演習Ⅰ	1	2	30	○	●	●	●	△	子ども発達学科は卒業必修 心理学科は全員履修	●	●	●	●		前
7		情報処理演習Ⅱ	1	2	30	○	△	△	△	△	全員履修	○					後
8		言語と文化Ⅰ	1	1	30	○	△	△	△	○	言語別クラス 子ども発達学科は全員履修						前
9		言語と文化Ⅱ	1	1	30	○	△	△	△	○	言語別クラス 子ども発達学科は全員履修						後
10		海外フィールドワーク	1	4	30		○	○	○	○							後
11		福祉社会入門	1	2	30		○	○	○	○	全学教育センター科目 ◆						前
12		日本福祉大学の歴史	1	2	30		○	○	○	○	全学教育センター科目 ◆						後
13		知多学	1	2	30		○	○	○	○	全学教育センター科目 ◆						前
14		ヒューマンケアのための多職種連携	1	2	30		○	○	○	○	全学教育センター科目 ◆						後
15		福祉の力	2	2	30		○	○	○	○	全学教育センター科目 ◆						前
16		文章作成力演習	2	2	30	○	○	○	○	○	全学教育センター科目						後
17		心理学専攻科目	人間発達学A	1	2	30		○	○	○	○						
18	保育実践入門		1	2	30		△	○	○	○	保育・幼児教育専修は全員履修						前
19	教育実践入門		1	2	30		○	△	△	○	学校教育専修は全員履修						前
20	障害学入門		1	2	30		○	○	△	○	特別支援教育コースは全員履修						前
21	思春期のセクシャリティ		1	2	30		○	○	○	○							前
22	心理学概論		1	2	30		○	○	○	●	心理学科は卒業必修					●	前
23	自然科学の世界		1	2	30		○	○	○	○							前
24	社会科学の世界		1	2	30		○	○	○	○							前
25	人文科学の世界		1	2	30		○	○	○	○							前
26	総合演習Ⅰ		1	2	30	○	△	△	△	△	全員履修						前
27	ジェンダー論		1	2	30		○	○	○	○							後
28	人間発達学B		1	2	30		○	○	○	○							後
29	市民社会の諸問題		1	2	30		○	○	○	○							後
30	日本国憲法		1	2	30		●	●	●	○	子ども発達学科は卒業必修	●	●	●	●		後
31	スポーツと文化		1	2	30		○	○	○	○		●					後
32	総合演習Ⅱ		1	2	30	○	△	△	△	△	全員履修						後
33	保育学基礎演習		2	2	30	○	△	×	×	×	保育・幼児教育専修は全員履修						前
34	教育学基礎演習		2	2	30	○	×	△	△	×	学校教育専修は全員履修						前
35	心理学基礎演習		2	2	30	○	×	×	×	△	心理学科は全員履修						前
36	アダブテッド・スポーツ	4	2	30	○	○	○	○	○							通	

総合基礎科目を28単位以上修得のこと

履修方法 ●:必修 ◎:選択必修 ○:選択 △全員履修 / ◆第16条3項に定める「メディア授業」

【外国人留学生特例科目】

日本語と文化Ⅰ-1	1	1	30		○					外国人留学生入試による入学者は、原則として、「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1、Ⅰ-2、Ⅱ-1、Ⅱ-2」に替えて履修する。
日本語と文化Ⅰ-2	1	1	30		○					
日本語と文化Ⅱ-1	1	1	30		○					
日本語と文化Ⅱ-2	1	1	30		○					
日本語と文化Ⅲ-1	2	1	30		○					
日本語と文化Ⅲ-2	2	1	30		○					
日本語と文化Ⅳ-1	2	1	30		○					
日本語と文化Ⅳ-2	2	1	30		○					

【専門科目】教育・心理学部 子ども発達学科 保育・幼児教育専修

通番	科目群	授業科目名称	配当学生	単位数	時間数	クラス登録	履修方法	学部内履修可否		備考	履修方法 (資格・免許)		履修の 留意点
								他専修	他学科		幼稚園	小学校	
1	教育 保育基礎	保育原理Ⅰ	1	2	30		◎	○	×	教育・保育基礎(1~18)から10単位以上選択必修	●	○	前
2		保育原理Ⅱ	2	2	30		◎	○	×		◎	○	後
3		教育原理(幼保)	1	2	30		◎	×	×		●	●	後
4		教育と発達心理学(幼保)	1	2	30		◎	×	×		●	●	前
5		保育・教育制度論	2	2	30		◎	×	×			●	前
6		保育方法論Ⅰ	2	2	30		◎	○	×		◎	●	前
7		保育方法論Ⅱ	2	2	30		◎	○	×		◎	●	後
8		保育職論	1	2	30		◎	○	×		●	●	後
9		社会福祉論	1	2	30		◎	—	—		●	○	前
10		保育・教育課程論	1	2	30		◎	○	×		●	●	後
11		特別支援教育概論(幼)	2	2	30		◎	×	×			●	後
12		子ども家庭福祉論Ⅰ	2	2	30		◎	—	—		●		前
13		子ども家庭福祉論Ⅱ	2	2	30		◎	—	—		◎		後
14		子ども家庭支援論	3	2	30		◎	○	○		●		前
15		社会的養護	2	2	30		◎	○	×		●		前
16		教育福祉論	3	2	30		◎	—	—		◎	○	後
17		障害者論	3	2	30		◎	○	○		◎		前
18		学童保育論	4	2	30		◎	—	○				後
19	領域研究	保育内容演習	1	2	30	○	◎	×	×	領域研究(19~25)から2単位以上選択必修	●	●	前
20		乳幼児と音楽(演習)	1	2	30	○	◎	×	×		●	●	後
21		乳幼児と造形(演習)	2	2	30	○	◎	×	×		●	●	前
22		乳幼児と健康(演習)	1	2	30	○	◎	×	×		●	●	後
23		乳幼児と言葉(演習)	3	2	30	○	◎	×	×		●	●	後
24		乳幼児と人間関係	2	2	30		◎	×	×			●	後
25		乳幼児と環境	3	2	30		◎	×	×			●	後
26	教育 保育実践系	からだと健康(保育内容A)	1	2	30	○	◎	×	×	教育・保育実践系(26~58)から16単位以上選択必修	●	●	前
27		仲間と交わり(保育内容B)	3	2	30	○	◎	×	×		●	●	前
28		生活と環境(保育内容C)	3	2	30	○	◎	×	×		●	●	前
29		発達と言葉(保育内容D)	1	2	30	○	◎	×	×		●	●	前
30		感性と表現(保育内容E)	2	2	30	○	◎	×	×		●	●	後
31		音楽表現	2	2	30	○	◎	×	×		◎		前
32		造形表現	3	2	30	○	◎	×	×		◎		前
33		身体表現	2	2	30	○	◎	×	×		◎		前
34		子ども理解の理論と方法	3	1	15		◎	○	○			●	前
35		教育・臨床相談の基礎演習	3	1	15	○	◎	×	×			●	前
36		保育カンファレンス演習	4	1	15	○	◎	×	×		◎		前
37		子どもの食と栄養演習	2	2	30	○	◎	×	×		●		後
38		子ども家庭支援の心理学	2	2	30		◎	○	×		●		前
39		子どもの理解と援助	2	1	15	○	◎	×	×		●		前
40		子どもの保健	1	2	30		◎	○	×		●		後
41		乳児保育論	1	2	30		◎	○	×		●		後
42		乳児保育演習	2	2	30	○	◎	×	×		●		前
43		障害児保育演習	3	2	30	○	◎	×	×		●		前
44		子どもの健康と安全	2	1	15	○	◎	×	×		●		後
45		ソーシャルワーク演習	3	1	15	○	◎	×	×		◎		後
46		社会的養護内容演習	3	1	15	○	◎	×	×		●		前
47		子育て支援演習	2	2	30	○	◎	×	×	全員履修	●		後
48		教育実習Ⅰ(幼・事前事後)	3・4	1	15	○	◎	×	×			●	後前
49	教育実習Ⅱ(幼)	4	4		○	◎	×	×			●	前	
50	保育・教職実践演習	4	2	30	○	◎	×	×		●	●	後	
51	保育実習ⅠA(保育所)	2	2		○	◎	×	×		●		後	
52	保育実習指導ⅠA(保育所)	2	1	15	○	◎	×	×		●		後	
53	保育実習ⅠB(施設)	3	2		○	◎	×	×		●		前	
54	保育実習指導ⅠB(施設)	3	1	15	○	◎	×	×		●		前	
55	保育実習Ⅱ(保育所)	3	2		○	◎	×	×		◎		後	
56	保育実習指導Ⅱ(保育所)	3	1	15	○	◎	×	×		◎		後	
57	保育実習Ⅲ(施設)	3	2		○	◎	×	×		◎		後	
58	保育実習指導Ⅲ(施設)	3	1	15	○	◎	×	×		◎		後	
59	演習系	子ども発達学専門演習Ⅰ	3	4	60	○	●	—	×				通
60		子ども発達学専門演習Ⅱ	4	4	60	○	●	—	×				通

専門科目を66単位以上修得のこと

履修方法 ●: 必修 ◎: 選択必修 ○: 選択 △: 全員履修 / ◆: 第16条3項に定める「メディア授業」

【専門科目】教育・心理学部 子ども発達学科 学校教育専修 学校教育コース

連番	科目群	授業科目名称	配当学生	単位数	時間数	クラス選修	履修方法	学部内履修可否			備考	履修方法 (資格・免許)		履修時期	
								他コース	他専修	他学科		小学校	中学校		
1	教育学基礎	教職入門	1	2	30		◎	—	○	×	1~5の5科目から1科目2単位選択必修	●	●	前	
2		教育と発達心理学	1	2	30		◎	—	×	×		●	●	後	
3		教育原理	1	2	30		◎	—	×	×		●	●	前	
4		教育制度論	1	2	30		◎	—	×	×		●	●	後	
5		特別支援教育概論	1	2	30		◎	—	×	×		●	●	後	
6		教育課程論	1	2	30		◎	—	○	×	6~11の6科目から2科目4単位選択必修	●	●	後	
7		教育方法論(情報通信技術の活用含む)	2	2	30		◎	—	○	×		●	●	前	
8		生徒・進路指導論	2	2	30		◎	—	○	×		●	●	後	
9		道徳教育の理論と方法	3	2	30		◎	—	○	×		●	●	前	
10		特別活動方法論	3	2	30		◎	—	○	×		●	●	前	
11		教育相談の基礎と方法	3	2	30		◎	—	○	×		●	●	前	
12		特別ニーズ教育論	3	2	30		○	—	○	×				前	
13	教科学研究	国語科研究	2	2	30		◎	—	×	×	13~22の10科目から2科目4単位選択必修	◎		前	
14		社会科研究	2	2	30		◎	—	×	×		●		前	
15		算数科研究	2	2	30		◎	—	×	×		◎		後	
16		音楽専門研究Ⅰ	2	2	30	○	◎	—	×	×		◎		前	
17		造形専門研究Ⅰ	2	2	30	○	◎	—	×	×		◎		前	
18		スポーツ専門研究Ⅰ	2	2	30	○	◎	—	×	×		◎		前	
19		理科研究	2	2	30		◎	—	×	×		◎		後	
20		生活科研究	2	2	30		◎	—	×	×		◎		後	
21		家庭科研究	2	2	30		◎	—	×	×		◎		後	
22		外国語研究	2	2	30		◎	—	×	×		◎		後	
23		家族社会学	1	2	30		○	○	○	○	◆			後	
24		日本史概論	2	2	30		○	○	○	○			●	前	
25		外国史概論	2	2	30		○	○	○	○			●	前	
26		地理学概論	2	2	30		○	○	○	○			●	前	
27		法学概論	2	2	30		○	○	○	○			●	後	
28		政治学概論	2	2	30		○	○	○	○			●	後	
29		社会学概論	2	2	30		○	○	○	○			●	前	
30		経済学概論	2	2	30		○	○	○	○			●	後	
31		哲学概論	2	2	30		○	○	○	—			●	前	
32		日本史特講	3	2	30		○	○	○	○			○	後	
33		近現代史	3	2	30		○	○	○	○			○	後	
34		自然地理学	3	2	30		○	○	○	○			○	後	
35		人文地理学	3	2	30		○	○	○	○			○	後	
36		政治学特講	3	2	30		○	○	○	○			○	前	
37		法学特講	3	2	30		○	○	○	○			○	後	
38		社会学特講	3	2	30		○	○	○	○			○	後	
39		経済学特講	3	2	30		○	○	○	○			○	前	
40		哲学特講	3	2	30		○	○	○	○			○	後	
41		倫理学概論	3	2	30		○	○	○	—			●	前	
42		宗教学概論	3	2	30		○	○	○	—			●	前	
43		倫理学特講(死生学)	4	2	30		○	○	○	—			○	前	
44		福祉系	社会福祉論	1	2	30		◎	—	—	—	44~49の6科目から2科目4単位選択必修	○	○	前
45			子ども家庭福祉論Ⅰ	2	2	30		◎	—	—	—				前
46			子ども家庭福祉論Ⅱ	2	2	30		◎	—	—	—				後
47	学校福祉論		2	2	30		◎	—	○	○				後	
48	教育福祉論		3	2	30		◎	—	—	—		○	○	後	
49	司法福祉論		4	2	30		◎	—	○	○				前	
50	学童保育論	4	2	30		○	—	—	○				後		
51	演習系	学校教育演習	2	2	30		△	—	×	×				後	
52		子ども発達学専門演習Ⅰ	3	4	60	○	●	—	—	×				通	
53		子ども発達学専門演習Ⅱ	4	4	60	○	●	—	—	×				通	

第2編 大学 第3章 教務（日本福祉大学教育・心理学部授業科目履修規程）

通番	科目群	授業科目名称	配当学生	単位数	時間数	クラス登録	履修方法	学部内履修可否			備考	履修方法 (資格・免許)		履修の 順序
								他コース	他専修	他専科		小学校	中学校	
54	教育実践系	国語科教育法	2	2	30	○	◎	—	×	×	54～64の11科目から2科目4単位選択必修	●		後
55		社会科教育法	2	2	30	○	◎	—	×	×		●		後
56		図画工作教育法	2	2	30	○	◎	—	×	×		●		後
57		音楽科教育法	2	2	30	○	◎	—	×	×		●		後
58		体育科教育法	2	2	30	○	◎	—	×	×		●		後
59		算数科教育法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●		前
60		理科教育法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●		前
61		生活科教育法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●		前
62		家庭科教育法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●		前
63		外国語教育法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●		前
64		総合的な学習の時間の指導法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●	●	前
65		音楽専門研究Ⅱ	4	2	30	○	○	—	×	×		○		前
66		造形専門研究Ⅱ	4	2	30	○	○	—	×	×		○		前
67		スポーツ専門研究Ⅱ	4	2	30	○	○	—	×	×		○		前
68		中等社会科教育法 A	2	2	30		○	×	×	×			●	後
69		中等社会科教育法 B	3	2	30		○	×	×	×			●	前
70		中等社会科教育法 C	3	2	30		○	×	×	×			●	前
71		中等社会科教育法 D	3	2	30		○	×	×	×			●	後
72		教職インターンシップⅠ	2	2		○	○	—	×	×		○	○	通
73		教育実習Ⅰ(小・事前事後)	3	1	15	○		—	×	×		●		前
74		教育実習Ⅱ(小)	3	4		○		—	×	×		●		後
75		教育実習Ⅰ(中・事前事後)	3・4	1	15	○		×	×	×			●	後
76		教育実習Ⅱ(中)	4	4		○		×	×	×			●	前
77		教職インターンシップⅡ	4	2		○		—	×	×		○	○	後
78		教職実践演習(小中)	4	2	30	○		—	×	×		●	●	後

専門科目を66単位以上修得のこと

履修方法 ●:必修 ◎:選択必修 ○:選択 △全員履修 / ◆第16条3項に定める「メディア授業」

【専門科目】教育・心理学部 子ども発達学科 学校教育専修 特別支援教育コース

連番	科目群	授業科目名称	配当学生	単位数	時間数	クラス登録	履修方法	学内履修可否			備考	履修方法 (資格・免許)		参加履修時期
								他コース	他専修	他学科		小学校	特別支援	
1	教育学基礎	教職入門	1	2	30		◎	—	○	×	1~4-6~11の10科目から1科目2単位選択必修	●		前
2		教育と発達心理学	1	2	30		◎	—	×	×		●		後
3		教育原理	1	2	30		◎	—	×	×		●		前
4		教育制度論	1	2	30		◎	—	×	×		●		後
5		特別支援教育概論	1	2	30		△	—	×	×		●		後
6		教育課程論	1	2	30		◎	—	○	×		●		後
7		教育方法論(情報通信技術の活用含む)	2	2	30		◎	—	○	×		●		前
8		生徒・進路指導論	2	2	30		◎	—	○	×		●		後
9		道徳教育の理論と方法	3	2	30		◎	—	○	×		●		前
10		特別活動方法論	3	2	30		◎	—	○	×		●		前
11		教育相談の基礎と方法	3	2	30		◎	—	○	×		●		前
12		特別ニーズ教育論	3	2	30		△	—	○	×				前
13	教科研究	国語科研究	2	2	30		◎	—	×	×	13~15-19~22の7科目から1科目2単位選択必修	◎		前
14		社会科研究	2	2	30		◎	—	×	×		●		前
15		算数科研究	2	2	30		◎	—	×	×		◎		後
16		音楽専門研究Ⅰ	2	2	30	○	○	—	×	×		◎		前
17		造形専門研究Ⅰ	2	2	30	○	○	—	×	×		◎		前
18		スポーツ専門研究Ⅰ	2	2	30	○	○	—	×	×		◎		前
19		理科研究	2	2	30		◎	—	×	×		◎		後
20		生活科研究	2	2	30		◎	—	×	×		◎		後
21		家庭科研究	2	2	30		◎	—	×	×		◎		後
22		外国語研究	2	2	30		◎	—	×	×		◎		後
23	福祉系	社会福祉論	1	2	30		◎	—	—	—	23~28の6科目から1科目2単位選択必修	○		前
24		子ども家庭福祉論Ⅰ	2	2	30		◎	—	—	—				前
25		子ども家庭福祉論Ⅱ	2	2	30		◎	—	—	—				後
26		学校福祉論	2	2	30		◎	—	○	○				後
27		教育福祉論	3	2	30		◎	—	—	—		○		後
28		司法福祉論	4	2	30		◎	—	○	○				前
29		学童保育論	4	2	30		○	—	—	○				後
30	演習系	学校教育演習	2	2	30	○	△	—	×	×				後
31		子ども発達学専門演習Ⅰ	3	4	60	○	●	—	—	×				通
32		子ども発達学専門演習Ⅱ	4	4	60	○	●	—	—	×				通
33	教育実践系	国語科教育法	2	2	30	○	◎	—	×	×	33~43の11科目から1科目2単位選択必修	●		後
34		社会科教育法	2	2	30	○	◎	—	×	×		●		後
35		図画工作教育法	2	2	30	○	◎	—	×	×		●		後
36		音楽科教育法	2	2	30	○	◎	—	×	×		●		後
37		体育科教育法	2	2	30	○	◎	—	×	×		●		後
38		算数科教育法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●		前
39		理科教育法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●		前
40		生活科教育法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●		前
41		家庭科教育法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●		前
42		外国語教育法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●		前
43		総合的な学習の時間の指導法	3	2	30	○	◎	—	×	×		●		前
44		音楽専門研究Ⅱ	4	2	30	○	○	—	×	×		○		前
45		造形専門研究Ⅱ	4	2	30	○	○	—	×	×		○		前
46		スポーツ専門研究Ⅱ	4	2	30	○	○	—	×	×		○		前
47		教職インターンシップⅠ	2	2		○	○	—	×	×		○		通
48		教育実習Ⅰ(小・事前事後)	3	1	15	○	○	—	×	×		●		前
49		教育実習Ⅱ(小)	3	4		○	○	—	×	×		●		後
50		教職インターンシップⅡ	4	2		○	○	—	×	×		○		後
51	教職実践演習(小中)	4	2	30	○	○	—	×	×		●		後	

第2編 大学 第3章 教務（日本福祉大学教育・心理学部授業科目履修規程）

選修	科目群	授業科目名称	配当年生	単位数	時間数	クラス登録	履修方法	学部内履修可否			備考	履修方法 (資格・免許)		参考履修予定期
								他コース	他専修	他学科		小学校	特別支援	
52	特別支援教育	特別支援教育論	2	2	30		●	○	×	×			●	前
53		知的障害児教育論	2	2	30		◎	×	×	×	53～57の5科目から2科目4単位選択必修		●	後
54		知的障害児指導法	3	2	30		◎	×	×	×			●	前
55		肢体不自由児教育論	3	2	30		◎	×	×	×			●	前
56		肢体不自由児指導法	3	2	30		◎	×	×	×			●	後
57		特別支援教育課程論	2	2	30		◎	×	×	×			●	後
58		聴覚障害児指導法	3	2	30		◎	×	×	×	58～62の5科目から2科目4単位選択必修			後
59		重度重複障害児教育論	3	2	30		◎	×	×	×				前
60		重度重複障害児指導法	3	2	30		◎	×	×	×				後
61		発達障害児指導法	2	2	30		◎	○	×	×				後
62		障害児教育特論	4	2	30		◎	×	×	×				前
63		障害児教育実習Ⅰ(事前事後)	4	1	15	○	○	×	×	×			●	通
64		障害児教育実習Ⅱ	4	2	30	○	○	×	×	×			●	通
65		障害理解	知的障害児の心理	1	2	30		◎	○	○	○	65～70の6科目から2科目4単位選択必修		●
66	知的障害児の生理と病理		2	2	30		◎	○	○	—			●	前
67	肢体不自由児の心理		2	2	30		◎	○	○	—			●	前
68	肢体不自由児の生理と病理		2	2	30		◎	○	○	○			●	後
69	視覚・聴覚・病弱児論		2	2	30		◎	○	○	○			●	後
70	発達障害児論		2	2	30		◎	○	○	—			●	前
71	聴覚障害児の心理・生理・病理		3	2	30		◎	○	○	—	71・72の2科目から1科目2単位選択必修			前
72	病弱児の心理・生理・病理		3	2	30		◎	○	○	○				前
73	動作法		3	2	30	○	○	×	×	—				前
74	障害児アセスメント演習		4	2	30	○	○	×	×	×				前

専門科目を66単位以上修得のこと

履修方法 ●:必修 ◎:選択必修 ○:選択 △全員履修 / ◆第16条3項に定める「メディア授業」

【専門科目】教育・心理学部 心理学科

連番	科目群	授業科目名称	配当年年	単位数	時間数	クラス登録	履修方法	他学科履修可否	備考	公認心理師課程履修方法	参考履修予定期
1	基礎心理学	発達心理学	1	2	30		◎	×	◎の6科目から2科目4単位を選択必修	●	前
2		感情・人格心理学	1	2	30		○	○		●	後
3		心理学研究法	1	2	30		●	×		●	後
4		教育・学校心理学	1	2	30		○	×		●	後
5		心理データ処理演習	2	2	30	○	◎	×	◎の6科目から2科目4単位を選択必修		前
6		心理学実験	2	2	30	○	●	×		●	前
7		心理学統計法	2	2	30		○	×		●	前
8		学習・言語心理学	2	2	30		○	○		●	前
9		社会・集団・家族心理学	2	2	30		○	○		●	後
10		神経・生理心理学	2	2	30		○	×		●	後
11		論文・外書購読	2	2	30	○	○	×			後
12		コミュニティ心理学	2	2	30		○	○			後
13		対人関係論	2	2	30		○	○			前
14		知覚・認知心理学	2	2	30		○	○		●	前
15		色彩心理学	2	2	30		○	○			後
16		心理調査概論	3	2	30		○	×			前
17	臨床・発達心理学	臨床心理学概論	1	2	30		○	○		●	前
18		心理学的支援法	2	2	30		○	×		●	後
19		精神疾患とその治療	2	2	30		◎	×	◎の6科目から2科目4単位を選択必修	●	後
20		学校心理臨床論	2	2	30		○	○			後
21		神経症と心身症	2	2	30		○	×			前
22		人体の構造と機能及び疾病	2	2	30		○	×		●	前
23		健康・医療心理学	2	2	30		○	×		●	前
24		福祉心理学	2	2	30		◎	×	◎の6科目から2科目4単位を選択必修	●	前
25		児童心理支援論	3	2	30		○	○			前
26		高齢者心理支援論	3	2	30		○	○			前
27		心理療法論	3	2	30		◎	×	◎の6科目から2科目4単位を選択必修		前
28		心理的アセスメント	3	2	30		○	×		●	前
29		司法・犯罪心理学	3	2	30		○	×		●	後
30		関係行政論	3	2	30		○	×		●	後
31		公認心理師の職責	3	2	30		○	×		●	前
32		心理療法特講	3	2	30		○	×			後
33		支援者の心理	4	2	30		○	×			後
34	障害理解	知的障害児の生理と病理	2	2	30		○	—			前
35		発達障害児論	2	2	30		○	—			前
36		聴覚障害児の心理・生理・病理	3	2	30		○	—			前
37		障害者・障害児心理学	3	2	30		○	×		●	前
38		肢体不自由児の心理	2	2	30		○	—			前
39		動作法	3	2	30	○	○	—			前
40	福祉系	社会福祉論	1	2	30		○	—			前
41		子ども家庭福祉論Ⅰ	2	2	30		○	—			前
42		子ども家庭福祉論Ⅱ	2	2	30		○	—			後
43	教育福祉論	3	2	30		○	—			後	
44	社会系	哲学概論	2	2	30		○	—			前
45		宗教学概論	3	2	30		○	—			前
46		倫理学概論	3	2	30		○	—			前
47		死生学	4	2	30		○	—			前
48	研究	心理学発展演習	2	2	30	○	△	×			後
49		心理学専門演習Ⅰ	3	4	60	○	●	×			通
50		心理学専門演習Ⅱ	4	4	60	○	●	×			通
51		心理学研究法演習	4	2	30	○	○	×			後
52	心理学履 受修	心理演習	2	2	30	○	○	×	公認心理師課程登録者のみ履修可	●	前
53		心理支援演習	2	2	30	○	○	×	公認心理師課程登録者のみ履修不可		前
54		臨床心理学演習	2	2	30	○	○	×			後
55		心理実習Ⅰ	2	4	60	○	○	×	公認心理師課程登録者のみ履修可	●	通
56		心理実習Ⅱ	3	4	60	○	○	×	公認心理師課程登録者のみ履修可	●	通
57		臨床面接法演習	4	2	30	○	○	×			前
58	心理アセスメント演習	4	2	30	○	○	×			後	

第2編 大学 第3章 教務（日本福祉大学教育・心理学部授業科目履修規程）

通番	科目群	授業科目名称	配当学年	単位数	時間数	クラス登録	履修方法	他学科履修可否	備考	公認心理師課程履修方法	参考)開講予定期
59	応用解析	消費者心理学	2	2	30		○	○			後
60		心理学応用実験	2	2	30	○	○	×			前
61		インターシシップⅠ	2	1	15	○	○	×			通
62		インターシシップⅡ	2	2	30	○	○	×			通
63		コミュニケーションスキル演習Ⅰ	2	2	30	○	◎	×	◎の6科目から2科目4単位を選択必修		後
64		コミュニケーションスキル演習Ⅱ	3	2	30	○	○	×			前
65		多変量解析	3	2	30	○	○	×			前
66		質的データの解析	3	2	30	○	○	×			後
67		産業・組織心理学	3	2	30		○	×		●	後
68		ホスピタリティの心理学	3	2	30		○	×			後
69		ビジネス心理学演習	4	2	30	○	○	×			前

専門科目を66単位以上修得のこと

履修方法 ●:必修 ◎:選択必修 ○:選択 △全員履修 / ◆第16条3項に定める「メディア授業」

【自由科目】

教育・心理学部

通番	科目群	授業科目名称	配当学年	単位数	時間数	クラス登録	履修方法	備考
1	自由科目	ビジネススキル	2	2	30		○	
2		インターシシップⅢ	2	1	15		○	単位認定科目
3		インターシシップⅣ	2	2	30		○	単位認定科目

別表2

学部共通 1、所属する学科の総合基礎科目 28 単位以上、専門科目を 66 単位以上修得し、他学部・他学科開講科目を含めて、合計で 124 単位以上修得していること。ただし、自由科目を除く。 2、学部所定の要件に従い卒業研究を提出し、合格していること。			
子ども発達学科			心理学科
保育・幼児教育専修	学校教育専修		
	学校教育コース	特別支援教育コース	
<p>■卒業必修科目</p> スポーツ実技 フレッシュマンインク®リッシュⅠ-1 フレッシュマンインク®リッシュⅡ-1 情報処理演習Ⅰ 日本国憲法 子ども発達学専門演習Ⅰ 子ども発達学専門演習Ⅱ 以下の科目から 10 単位以上修得すること。 保育原理Ⅰ 保育原理Ⅱ 教育原理（幼保） 教育と発達の心理学（幼保） 保育・教育制度論 保育方法論Ⅰ 保育方法論Ⅱ 保育職論 社会福祉論 保育・教育課程論 特別支援教育概論（幼） 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ 子ども家庭支援論 社会的養護 教育福祉論 障害者論 学童保育論 以下の科目から 2 単位以上修得すること。 保育内容演習 乳幼児と音楽（演習） 乳幼児と造形（演習） 乳幼児と健康（演習） 乳幼児と言葉（演習） 乳幼児と人間関係 乳幼児と環境 以下の科目から 16 単位以上修得すること。 からだと健康（保育内容A） 仲間と交わり（保育内容B） 生活と環境（保育内容C） 発達と言葉（保育内容D） 感性と表現（保育内容E） 音楽表現 造形表現 身体表現 子ども理解の理論と方法 教育・臨床相談の基礎演習 保育カンファレンス演習 子どもの食と栄養演習 子ども家庭支援の心理学	<p>■卒業必修科目</p> スポーツ実技 フレッシュマンインク®リッシュⅠ-1 フレッシュマンインク®リッシュⅡ-1 情報処理演習Ⅰ 日本国憲法 子ども発達学専門演習Ⅰ 子ども発達学専門演習Ⅱ 以下の科目から 2 単位以上修得すること。 教職入門 教育と発達の心理学 教育原理 教育制度論 特別支援教育概論 以下の科目から 4 単位以上修得すること。 教育課程論 教育方法論(情報通信技術の活用含む) 生徒・進路指導論 道徳教育の理論と方法 特別活動方法論 教育相談の基礎と方法 以下の科目から 4 単位以上修得すること。 国語科研究 社会科研究 算数科研究 音楽専門研究Ⅰ 造形専門研究Ⅰ スポーツ専門研究Ⅰ 理科研究 生活科研究 家庭科研究 外国語研究 以下の科目から 4 単位以上修得すること。 社会福祉論 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ 学校福祉論 教育福祉論 司法福祉論 以下の科目から 4 単位以上修得すること。 国語科教育法 社会科教育法 図画工作教育法 音楽科教育法 体育科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 家庭科教育法 外国語教育法	<p>■卒業必修科目</p> スポーツ実技 フレッシュマンインク®リッシュⅠ-1 フレッシュマンインク®リッシュⅡ-1 情報処理演習Ⅰ 日本国憲法 特別支援教育論 子ども発達学専門演習Ⅰ 子ども発達学専門演習Ⅱ 以下の科目から 2 単位以上修得すること。 教職入門 教育と発達の心理学 教育原理 教育制度論 教育課程論 教育方法論（情報通信技術の活用含む） 生徒・進路指導論 道徳教育の理論と方法 特別活動方法論 教育相談の基礎と方法 以下の科目から 2 単位以上修得すること。 国語科研究 社会科研究 算数科研究 理科研究 生活科研究 家庭科研究 外国語研究 以下の科目から 2 単位以上修得すること。 社会福祉論 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ 学校福祉論 教育福祉論 司法福祉論 以下の科目から 2 単位以上修得すること。 国語科教育法 社会科教育法 図画工作教育法 音楽科教育法 体育科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 家庭科教育法 外国語教育法	<p>■卒業必修科目</p> フレッシュマンインク®リッシュⅠ-1 フレッシュマンインク®リッシュⅡ-1 心理学概論 心理学研究法 心理学実験 心理学専門演習Ⅰ 心理学専門演習Ⅱ 以下の科目から 4 単位以上修得すること。 発達心理学 心理データ処理演習 精神疾患とその治療 福祉心理学 心理療法論 コミュニケーションスキル演習Ⅰ

<p>子どもの理解と援助 子どもの保健 乳児保育論 乳児保育演習 障害児保育演習 子どもの健康と安全 ソーシャルワーク演習 社会的養護内容演習 子育て支援演習 教育実習Ⅰ（幼・事前事後） 教育実習Ⅱ（幼） 保育・教職実践演習 保育実習ⅠA（保育所） 保育実習指導ⅠA（保育所） 保育実習ⅠB（施設） 保育実習指導ⅠB（施設） 保育実習Ⅱ（保育所） 保育実習指導Ⅱ（保育所） 保育実習Ⅲ（施設） 保育実習指導Ⅲ（施設）</p>	<p>体育科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 家庭科教育法 外国語教育法 総合的な学習の時間の指 導法</p>	<p>総合的な学習の時間の指導法</p> <p>以下の科目から4単位以上修得す ること。 知的障害児教育論 知的障害児指導法 肢体不自由児教育論 肢体不自由児指導法 特別支援教育課程論</p> <p>以下の科目から4単位以上修得す ること。 聴覚障害児指導法 重度重複障害児教育論 重度重複障害児指導法 発達障害児指導法 障害児教育特論</p> <p>以下の科目から4単位以上修得す ること。 知的障害児の心理 知的障害児の生理と病理 肢体不自由児の心理 肢体不自由児の生理と病理 視覚・聴覚・病弱児論 発達障害児論</p> <p>以下の科目から2単位以上修得す ること。 聴覚障害児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理</p>	
---	---	--	--

備考：外国人留学生入試による入学者は、原則として「日本語と文化Ⅰ-1」「同Ⅰ-2」「同Ⅱ-1」「同Ⅱ-2」「同Ⅲ-1」「同Ⅲ-2」「同Ⅳ-1」「同Ⅳ-2」を「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」「同Ⅱ-1」に替えて修得する。

別表 3

	子ども発達学科	心理学科
1年次	48 単位以内	48 単位以内
2年次	48 単位以内	48 単位以内
3年次	48 単位以内	48 単位以内
4年次	48 単位以内	48 単位以内

上記の制限の中には、自由科目は含まない。

別表 4 全学教育センター科目の単位算入方法

1. 自学科の総合基礎科目の単位として算入する科目

授業科目名
福祉社会入門
日本福祉大学の歴史
知多学
ヒューマンケアのための多職種連携
福祉の力
文章作成力演習

2. 自学科以外の総合基礎科目の単位として算入する科目

授業科目名
視覚障害者支援論
ろう文化と手話
法入門
地震と減災社会
コミュニケーション力演習
国内留学フィールド・スタディⅠ
国内留学フィールド・スタディⅡ
国内留学フィールド・スタディⅢ
聴覚障害者の理解と支援
ふくしとフィールドワーク
知多半島のふくし
ふくしと減災コミュニティ
ふくしフィールドワーク実践
スポーツ・文化特講Ⅰ
スポーツ・文化特講Ⅱ
海外英語研修